

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

### 事業名 県立学校災害用備蓄品整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校安全課 学校安全係 電話番号：058-272-1111(内8636)

E-mail：c17770@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,439 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,439	0	0	0	0	0	0	0	10,439
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

近年の大地震や火山噴火等、頻発する自然災害により、国民全体に危機管理意識が浸透してきている中、学校においても、児童生徒への防災に関する教育や、学校の防災体制の強化が求められている。

学校では、非常変災時に児童生徒を保護者に引き渡すことを基本としているが、災害の種類や規模によっては、保護者に引き渡すまで数日を要する事態も考えられ、日をまたぐ帰宅困難者に対応するために必要な物資の整備は必要である。

また国の中央防災会議による「防災基本計画」では、「最低3日分、推奨1週間分」の物資の備蓄を進めている。

よって、帰宅困難となった児童生徒及びその対応にあたる教職員が必要とする物資について、3日分程度整備し、各学校の大規模災害時における対応能力を高めるものとする。

### (2) 事業内容

・大規模災害時、一定数の帰宅困難者が出ることを想定し、その対応にあたる職員分の非常食、飲料水を、平成30年度に県立高校、県立特別支援学校に配備した備蓄品の更新。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

### (4) 類似事業の有無

- ・ 広域防災拠点等強靱化対策事業費（防災課）
- ・ 災害用備蓄食糧整備費（会計課）

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	10,439	消耗品費
合計	10,439	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 第3次岐阜県教育ビジョン  
基本方針5 学びを支援する安全・安心な教育環境づくり  
目標27 子どもたちの安全・安心の確保と危機管理体制の充実

### (2) 後年度の財政負担

児童生徒の命を守る学校安全の根幹に位置付く事業であり、物資の使用期限を迎えるたびに、県負担で継続していくことが必要である。

### (3) 事業主体及びその妥当性

各県立学校が大規模災害時における対応能力を備えるために、備蓄品を整備することが求められている。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

大規模災害発生時に帰宅困難となった児童生徒及び教職員が、自治体等の援助・支援が得られるまで学校で生活できるための物資の整備体制を整え、その状態を継続する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
① 整備物資の備蓄状況	0% (H29)	100%	100%	100%	100%	100%

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>平成30年度に、県立高校、県立特別支援学校に配備した備蓄品は、各学校で保管しており、年度の早い段階で保管場所、保管状況を確認し、いつでも対応できる状態である。</p>
令和3年度	<p>平成30年度に、県立高校、県立特別支援学校に配備した備蓄品は、各学校で保管しており、年度の早い段階で保管場所、保管状況を確認し、いつでも対応できる状態である。</p> <p>指標① 目標： 100 実績： 100 達成率： 100 %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	想定される自然災害で命を落とさぬように、児童生徒が学校で待機できる体制を構築することは、生命を守るためにきわめて重要なことである。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	県内の全ての県立高校、特別支援学校に必要な備蓄品が整備できており、その状態が継続できている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 1	県立学校に必要な備蓄品をまとめて一般競争入札により整備している。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 非常変災時に対応した必要物資の種類や量については、常に検討していく必要がある。</li> </ul>
--

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 備蓄物資には5年程度の使用期限等があるので、定期的な物資の更新を継続的に実施することが必要である。</li> </ul>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	